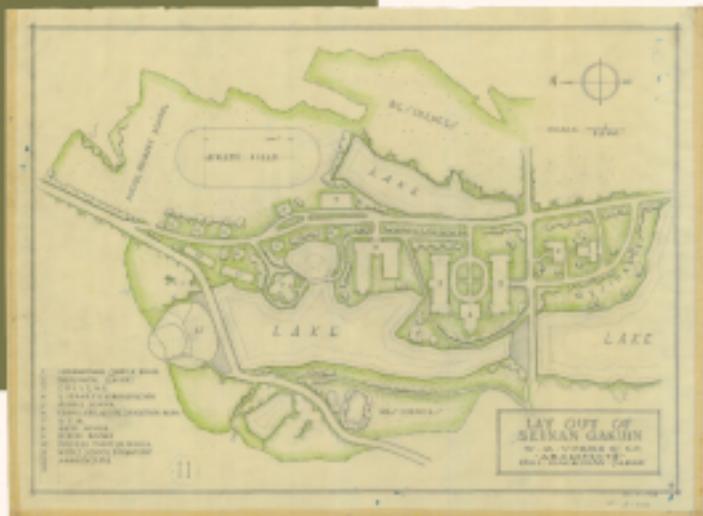


# 西南学院と

# 干隈の想い出

大学設立構想から憩いの場の記憶



西南学院バプテスト大学配景図、1907年、株式会社一社社ヴォーリス建築事務所 作成



初代学長住居の跡



干隈グラウンドで行われた体育祭 (1905年撮影)



干隈北側 (1999年撮影)

2023年

会期 3月1日(水) ▶ 12月19日(火)

時間 9:00 - 17:00  
(最終入室は16:30)

休館日 日曜日、5月3日(水) - 5日(金)、  
8月10日(木) - 16日(水)  
夏季一斉休暇中

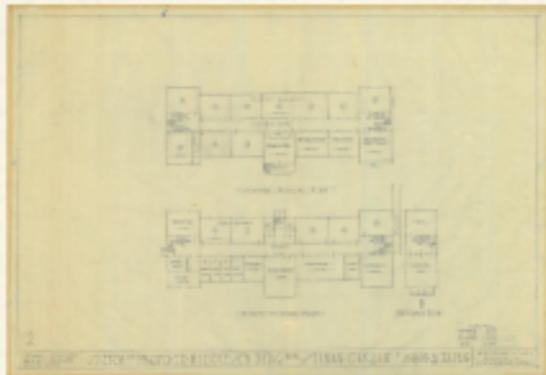
会場 西南学院百年館(松緑館)  
1F 企画展示室

主催 西南学院史資料センター

協力 株式会社一社社ヴォーリス建築事務所

入館  
無料

# 幻の西南学院バプテスト大学



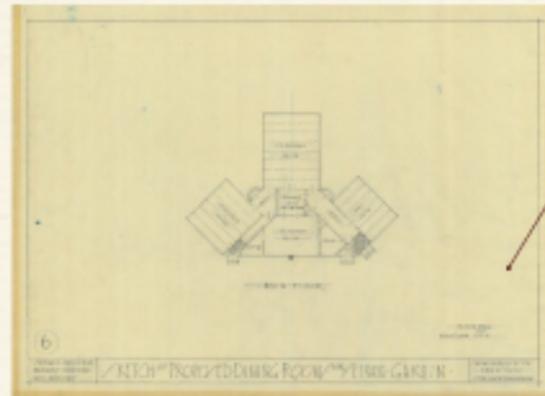
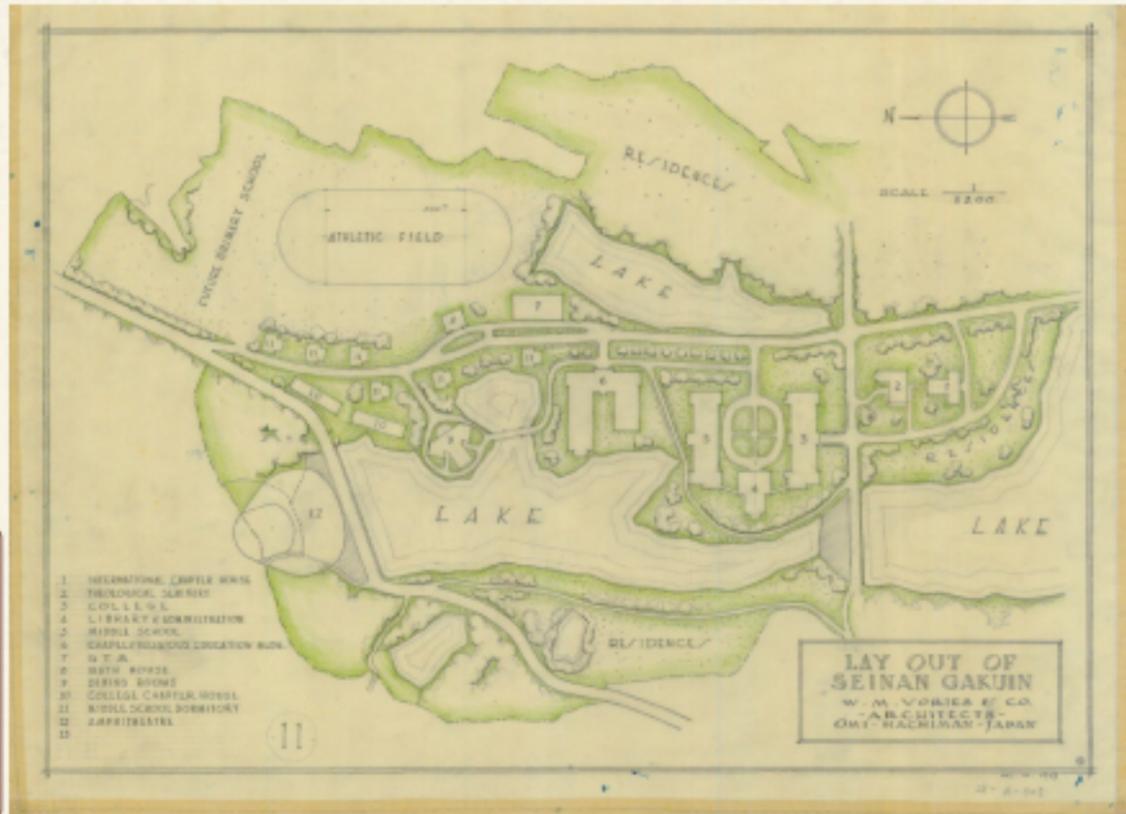
## 大学博物館の前身？

中学部校舎には自然史や地質学など化学士が授業が充実しています。MUSEUMと記された教室には標本を陳列するケースが並べられていたのでしょうか。

## 西南学院バプテスト大学配置図

(参考は現在地の大学に相当)

1. 西南学院校舎
2. 神学部
3. 大講堂
4. 図書館・水産
5. 中講堂
6. ティンバー・講義棟
7. 神学部
8. 聖堂
9. 本館
10. 大学学生会館
11. 中講堂
12. 円形劇場



## 湖畔の食堂

池を望む食堂には中学部、大学それぞれの学生たちの空間が設けられています。目の前には広がる美しい湖を眺めながら楽しむ食事は格別です。

## キャンパスに円形劇場！

ひととき目を引く丸いドーム型の建物。アンフィシアトル(AMPHITHEATRE)は、円形劇場を意味するラテン語に由来します。中央のアーチを観客席が取り囲む構造で、ローマのコロッセオが有名です。この建物の設計図は残っているが、配置図からキャンパスの中でもとりわけ大きな施設であったことがわかります。これは劇やコンサートの上演など大学の文化活動の中心になっていたことでしょう。



【資料出典】①西南学院バプテスト大学配置図 ②中野邦雄設計 ③森本設計。1937年、株式会社一般社ヴァージス建築事務所刊

## 干隈キャンパス



## 干隈キャンパス施設配置図



干隈グラウンドでは学生や教職員の親睦を深める体育祭も行われ、学院の憩いの場として愛されました。写真は干隈グラウンドで行われた第3回体育祭でのビール瓶釣り・運びの様子です。前列左は当時の学長古賀武夫です。(1968年撮影)。



1999年3月30日、学院と福岡市および福岡市土地開発公社との間で西南の社湖畔公園整備事業の土地売買に関する覚書調印式が行われました。干隈校地の跡地は、湖畔公園として整備されることになりました。干隈校地の跡地は「西南の社湖畔公園」として新たな憩いの場になっています。